



王一だより

令和4年11月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本直美

教育目標 **な**仲良く助け合う子 **か**身体をきたえ元気な子 **よ**よく考え最後までやりぬく子 **し**親切で礼儀正しい子

学芸発表会の取組を通して

校長 岡本直美

校庭の木々が色づき始め、秋の訪れを感じる頃となりました。学校では今、3年に一度の「学芸発表会」に向けての練習が本格化しています。体育館だけでなく、教室やステップホール、音楽室等を使って練習に励んでいます。コロナ禍で思うように進められない練習をいかに効果的に行うか、教職員が工夫をしながら、楽しく、効果的に取り組んでいます。

学芸発表会の醍醐味は、できなかったことが一生懸命に練習をしてできるようになること、学年全員で協力してひとつのものを創り上げる喜びや達成感を得られることです。しかし醍醐味を味わえるまでにはかなりの時間とエネルギーを要します。それでも学芸発表会をやるのは、子供たちにとって練習過程での学びと本番の感動が、貴重な成長の場になるからです。そして、その成長を日々の学校生活に生かしていくことが学芸発表会の大きな目標でもあります。当日は、今できる最高のパフォーマンスをお見せできることと思います。保護者の皆様には、子供たち一人一人の輝いた表情までしっかり観ていただけたらうれしいです。そしてやり遂げた子供たちに大きな拍手をお願いいたします。

11月19日（土）の保護者鑑賞日は、保護者の方のみに限定し、学年ごとの完全入れ替え制にするなどの感染症対策を講じての開催となります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



11月2日は、開校記念日

11月2日、王子第一小学校は、大正、昭和、平成、令和と四つの時代を歩み創立106周年を迎えます。王子第一小学校は、大正5年9月1日、王子尋常高等小学校（今の王子小学校）から分かれて王子第一尋常小学校として創立しました。児童数増加に伴い、現王一小敷地の蓮田を埋め立て校舎を建設。昭和3年11月2日に開校式を行い、同日を開校記念日としました。106年前は、第一次大戦の最中でした。第二次世界大戦の東京大空襲では、東京が焼け野原になりましたが、この王子第一小学校は焼かれずに残ったそうです。当時の学校の校舎前面は、蓮田でおおわれ、児童は蓮田の中の細い道を通っていました。運動場には幅2メートルくらいのきれいな小川が流れていて、玄関の前に大きな井戸があり、水が盛んに噴出していたそうです。水道はまだなく、当番の子は雪の日にもそこまで水を汲みに行きました。

また、当時は荒川放水路が完成していなかったため毎年、台風の時期になると洪水になり、学校も床上浸水ということが度々あり、学校の物置には大きな船がありました。

創立以来、19,371名もの卒業生を送り出してきました。本校が今日の充実発展をみましたことは、ひとえに保護者や地域、同窓会の皆様の心からのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後とも本校の発展を見守っていただけますようお願い申し上げます。

今年度は、開校記念日にPTAの皆様の協力で、王一フェスタを校内スタンプラリー形式で開催します。様々なゲームや読み聞かせなどが計画されており、子供たちにとって楽しい時間になることと思います。



昭和3年 新築された校舎（周囲は蓮田）